

評価基準（案）

評価項目		A 優れている (期待を上回る、非常に的確に捉えている)	B やや優れている (期待をやや上回る、妥当である)	C やや劣っている (期待をやや下回る、評価が過大過小 又は記載内容に不足がある)	D 劣っている (期待を下回る、評価が大きく過大過小 又は記載内容に多くの不足がある)
取組 状況	目標実現に資する取組となっているか。	・取組内容は、取組目標や取組方針、取組成果を十分に理解し、達成するよう計画された上で行われている。	・取組内容は、取組目標や取組方針、取組成果に基づき計画された上で行われている。	・取組内容は、取組目標や取組方針、取組成果に基づいて計画されているが不十分である。	・取組内容は、取組目標や取組方針、取組成果に基づき計画されたものではない。
	市民等のニーズに即した取組となっているか。	・ニーズを十分に把握し、かつ適切な対応がとられた取組となっている。	・ニーズを把握しており、一通りの対応が図られた取組となっている。	・ニーズの把握が不十分 ・ニーズは把握しているが、ニーズへの対応が不十分。	・ニーズを把握していない
	各分野間で必要な連携が図られているか。	・必要とされる各分野が連携し、成果に結びついている。	・必要とされる各分野が連携して取り組んでいる。	・連携が図られているが、内容や分野が不十分である。	・連携が必要な分野があるが、連携が図られていない。
	市民等と情報を共有し、参加・協働が図られているか。	・積極的に市民等と情報を共有し、参加・協働により進められている。	・市民等と情報の共有が図られており、参加・協働が取組に含まれている。	・市民等へ情報の共有が図られているが、参加・協働までに至っていない。	・市民等への情報の発信がなされず、参加・協働の余地があるが取り組まれていない。
成果	目標実現に向けて成果は上がっているか。 (短期及び中期を中心とする)	・各事業の成果が表れ、中期成果が実現している。	・各事業の成果が表れつつあり、中期成果にも結び付き始めている。	・各事業の成果が、まだ中期成果に結びついていない。	・各事業の成果が表れていない。
	1次評価の進捗状況や、遅れている取組がある場合は原因が的確に捉えられているか。	・進捗状況を的確に捉え、進んでいる又は遅れている要因が論理的に捉えられている。	・進捗状況を正しく捉えており、進んでいる又は遅れている要因が正しく捉えられている。	・進捗状況の捉え方と実態に差がある。 ・進んでいる又は遅れている要因の分析が不十分である。	・進捗状況の捉え方と実態に大きな乖離がある。 ・進んでいる又は遅れている原因が考えられていない。
改善	問題や課題が的確に捉えられているか。	・問題点や遅れている原因を根本的に解決するためにすべきことが論理的に捉えられている。	・問題点や遅れている原因を解決するためにすべきことが捉えられている。	・問題点や遅れている原因を解決するためにすべきことが捉えられているが不十分である。	・問題点や遅れている原因を解決するためにすべきことが考えられていない。
	今後の方向性・進め方は的確か。	・課題の解決策が論理的に示されており、補完性の原理に基づき、的確な役割分担となっている。	・課題の解決策が示され、役割分担が適切である。	・課題の解決策が示されているが不十分である。 ・役割分担に不十分な点がある。	・課題の解決策が示されていない。 ・役割分担が適切ではない。
分かり やすさ	市民に分かりやすい記載となっているか。	・市民の誰もが理解しやすいよう平易な表現が用いられ、かつ必要な内容が記載されている。	・広く市民が理解できる表現により記載されている。	・専門用語など、市民にとって理解しにくい表現が見られる。	・専門用語が多く、市民にとって理解しにくい表現が用いられ、かつ必要な内容が記載されていない。
総合 評価	施策の総合評価	・現状分析から問題点の把握、課題の抽出、解決策の立案が的確であることに加え、市民との役割分担も適切であり、求められる成果を上回っている。	・現状分析から問題点の把握、課題の抽出、解決策の立案が一定程度正確であり、市民との役割分担も適切であり、求められる通りの成果が表れている。	・現状分析から問題点の把握、課題の抽出、解決策の立案の一部に不十分な点がある、又は市民との役割分担に改善の余地がある。 ・成果が表れているものの、求められる程度までは達していない。	・現状分析から問題点の把握、課題の抽出、解決策の立案まで不十分で、又は市民との役割分担が考えられていない。 ・成果が表れていない。